

令和5年第3回江戸川区議会定例会一般質問発言事項

11 田村ひろし議員

1 物価高における江戸川区民の生活実態をどう捉えるか。

(1) 過去最高の税収入がある一方、区民は貧困化しているのではないかと。特に収入と支出の観点からみると貧困化と格差の実態がある。多くの区民の実質収入が落ち込み、可処分所得と購買力が低下している現状をどうするべきかを問う。

(2) 困窮時対策へのニーズが変化してはいないか。例えば国のガソリン価格高騰対策としてガソリン税を放置したまま石油元売への補助金投入策の評価は。

(3) 多くの生活支援策の条件にある所得制限や世帯単位の問題についての見解は。また生活支援品のおとどけ事業という現物支給策についての評価は。

2 給付型奨学金制度について

教育費の負担軽減策として本区の制度（木全・手嶋育英資金等）は足立区や港区に比べ対象人数や金額などの点で貧弱である。ゆえに拡充を求める。

3 官製ワーキングプアの現状と対策について

正規職員3,361人に対し、身分が不安定で年収がその半分程度の非正規職員が3,067人もいて足元の貧困化に加担しているのではないかと。見解は。

4 国民健康保険料について

法定外繰入金投入額を増やすなどせめて他の区並みの保険料への負担軽減策を求めるが、その見解は。

5 介護保険制度について

(1) 介護難民、介護離職を防ぐ対策についてどのように取り組むのか。

(2) 保険料負担、来年度2割負担への移行、ケアプランの適正化への取組みは。

6 区の透明性について

- (1) 職員の不祥事や事件、事故が発生した際の公表基準について。
- (2) 生活保護不適切事案検証委員会の傍聴や議事録公開を求めるが、見解は。
- (3) 監査委員にチェック機能があるのか。個人情報に配慮しながらも問題のある不適正な事実を公表するなどして自浄作用を促す機能があるのか問う。

7 インボイス制度の問題点について

経理上インボイス制度開始によって区に新たな負担の発生があるのか。例えば派遣職員やシルバー人材センター、民間事業者との取引などの支払い時に免税事業者の暫定税率分の負担発生等にどう対処するのか。

8 マイナンバーカードの利点と問題点について

役所内の関係部署間や他の自治体間の事務処理上のメリットとデメリットは。

9 職員の身分類型

- (1) 会計年度任用職員の身分上の不利益について。
- (2) 福祉事務所ケースワーカーへの福祉職採用の是非について。

10 災害対策

- (1) 水害時に他地域に逃げろという本区の防災対策について。
- (2) 避難行動要支援者の災害時、及び平時における対応と今後の対策は。

11 生活保護制度の現状と事務処理上の問題点について

本区における生活保護制度の現状と事務処理上の問題等について。

12 生活困窮者自立支援事業の現状と今後について

住居確保給付金や家計改善支援策の現状と課題、くらしごと相談室の相談件数の

推移について。